

2012年3月16日

環境省リユースシステム検討会・実証事業の報告

新宿サイダー開発サポート 事業の報告

びん再利用ネットワーク
代表幹事 中村秀次

2012年1月17日 東京MXテレビ・ニュース



2012年2月27日 テレビ東京「レディス4」



掲載日	媒体
2012年1月5日	東京新聞（都内版）に掲載
2012年1月6日	東京新聞（多摩版）に掲載
2012年1月10日	東京FM（ラジオ）で放送
2012年1月10日	日本放送（ラジオ）で放送
2012年1月10日	日刊工業新聞に掲載
2012年1月13日	朝日新聞、読売新聞、毎日新聞など、24社のWEB版に掲載
2012年1月13日	文化放送（ラジオ）
2012年1月17日	東京MX（テレビ）の18時、20時のニュースで放送
2012年1月17日	日本経済新聞に掲載
2012年1月24日	資源新聞に掲載
2012年1月27日	毎日新聞都内版に掲載
2012年2月13日	韓国国内で、YFNテレビ放送局東京支局の話題として紹介。
2012年2月21日	雑誌「散歩の達人」（交通新聞社）に掲載
2012年2月24日	サンケイ新聞に掲載
2012年2月27日	テレビ東京「レディス4」で紹介
2012年3月1日発売	雑誌「ハイパーホビー」（徳間書店）に掲載
2012年3月2日発売	雑誌「オレンジページ3月号」に掲載

実行委員会メンバー

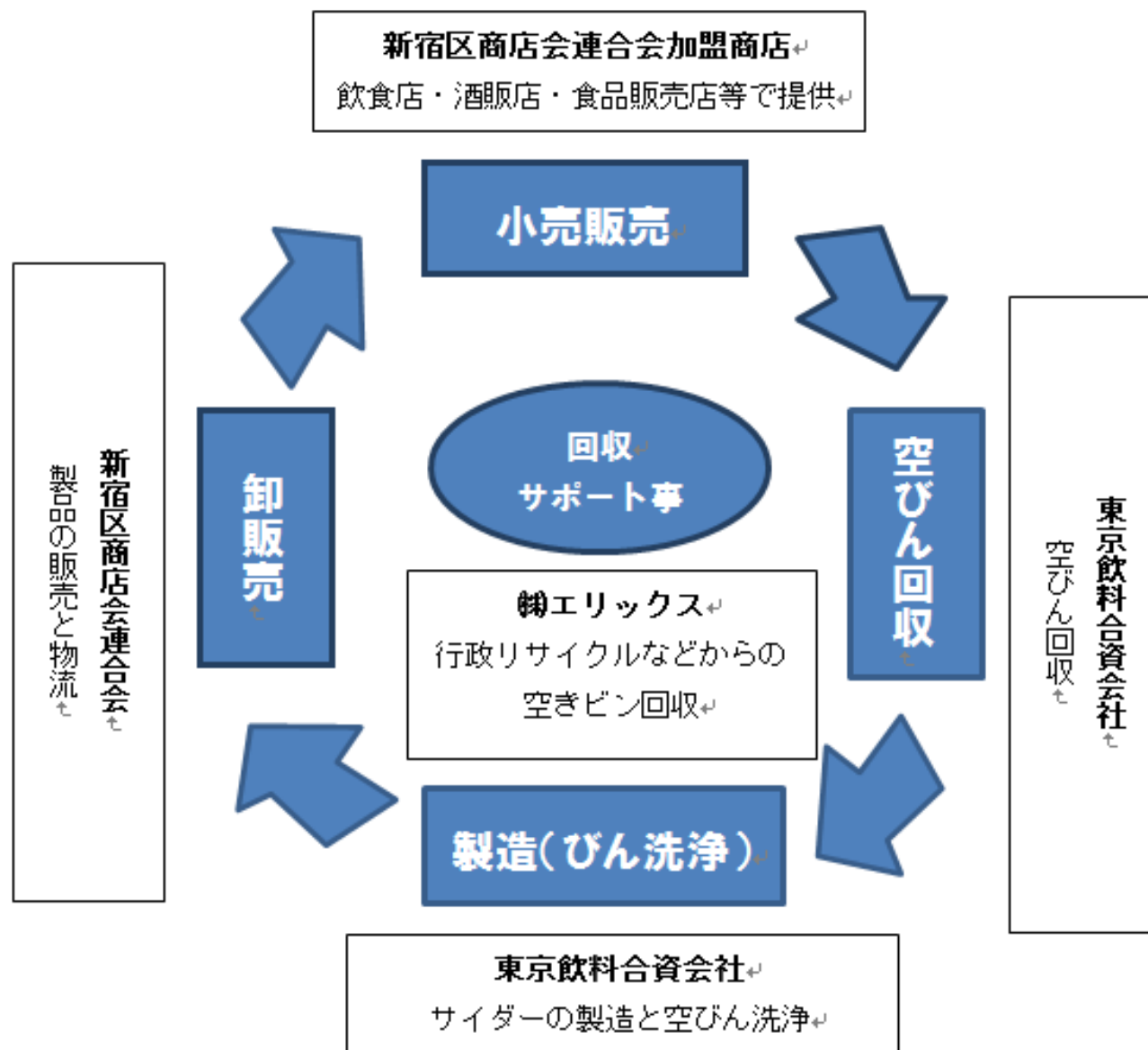
実行委員

実行委員長	大室新吉	新宿区商店会連合会会長
	安井潤一郎	新宿区商店会連合会副会長
	北田武夫	(株)エリックス代表取締役
	寺田康夫	東京飲料合資会社代表取締役
	中村秀次	びん再使用ネットワーク代表幹事

事務局

	佐藤雅英	新宿区商店会連合会事務局長
	丸木伸生	東京包装容器リサイクル協同組合事務局長
	山本義美	びん再使用ネットワーク事務局長

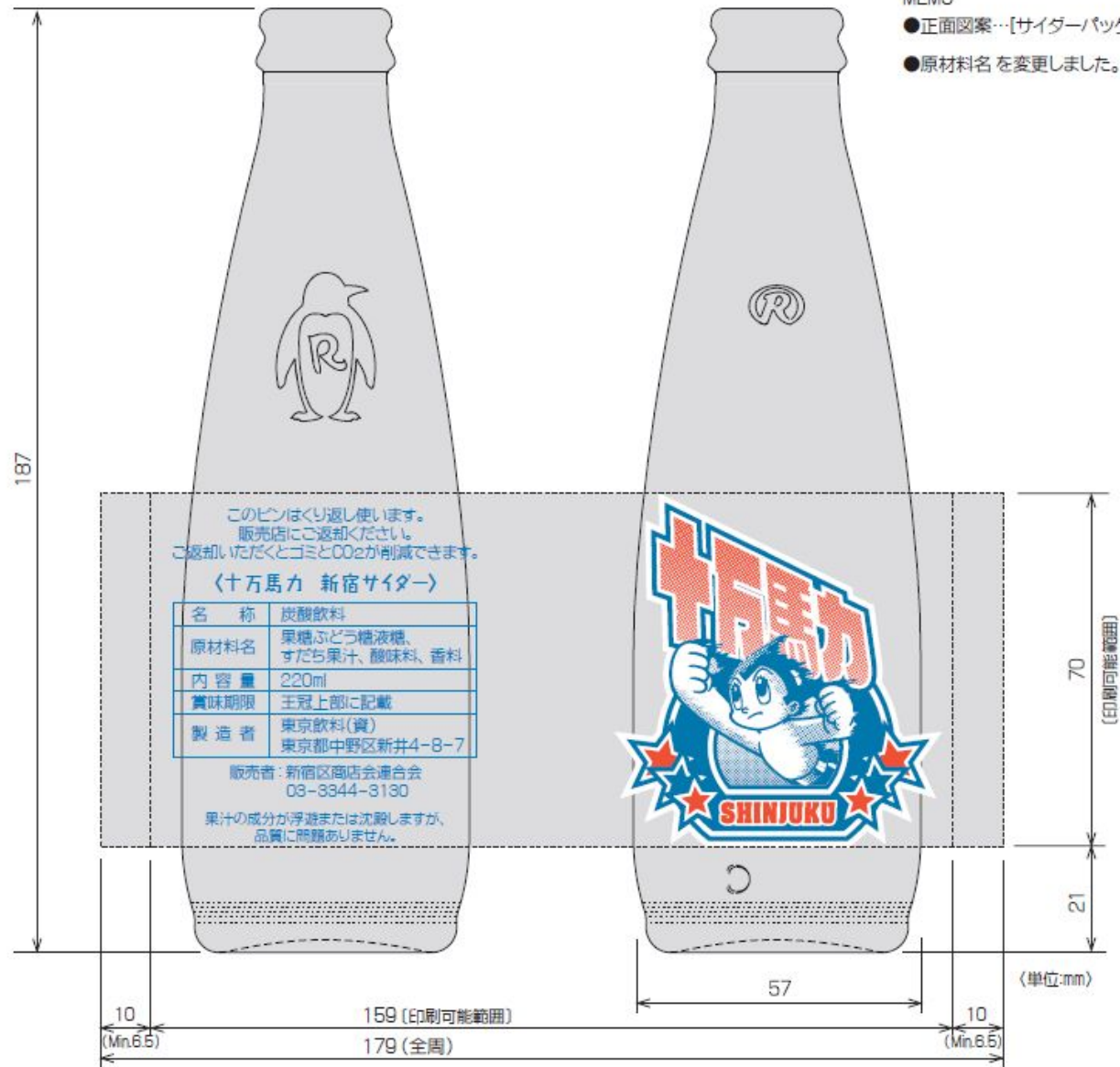
役割分担



びん印刷デザイン

MEMO

- 正面図案…[サイダーパッケージ納品.a1]
- 原材料名を変更しました。



専用P函



チラシのデザイン

スキッと、誕生!

十万馬力新宿サイダー

特別選んだち果実使用



空きびんは
販売店へ!



©TEDIWA PRODUCTIONS



スキッと爽やか!すだち味の十万馬力新宿サイダーが、くり返し使えるリユースびんに入って、誕生! エコで美味しい、他では味わえない新宿限定品です。開発したのは新宿区商店会連合会で、アトムでおなじみの(株)手塚プロダクションも協力しています。



アトム通貨 空きびん返却で、アトム通貨50馬力をゲット!

十万馬力新宿サイダーのびんは、くり返し使うことで、ごみとCO₂を削減するリユースびん。飲み終わったびんを販売店に返却すると、50馬力のアトム通貨をゲットできます。アトム通貨は加盟店で使えます。●アトム通貨についてはホームページをご覧ください。 <http://atom-community.jp>



十万馬力新宿サイダー

【内容量】220ml 【原材料】炭酸飲料(すだち果汁2%使用) 【製造者】東京飲料(株) 【販売者】新宿区商店会連合会
【販売所】びん再使用ネットワーク、(株)エリックス 【印刷】(株)手塚プロダクション

お問合せ先: 新宿区商店会連合会 〒160-0023 新宿区新宿 6-8-2 BIZ 新宿 2層 ☎03-3344-3130
※このチラシは平成23年度環境省「びんリユースシステム構築に向けた実証事業」の助成により作成しました。

ポスターのデザイン

十万馬力新宿サイダー

空きびんは販売店へ!

シワッと、区内限定発売!

スキッと爽やか! すだち味の十万馬力新宿サイダーが、くり返し使えるリユースびんに入って、誕生! エコで美味しい、他では味わえない新宿限定品です。開発したのは新宿区商店会連合会で、アトムでおなじみの(株)手塚プロダクションも協力しています。

アトム通貨 空きびん返却で、アトム通貨50馬力をゲット!

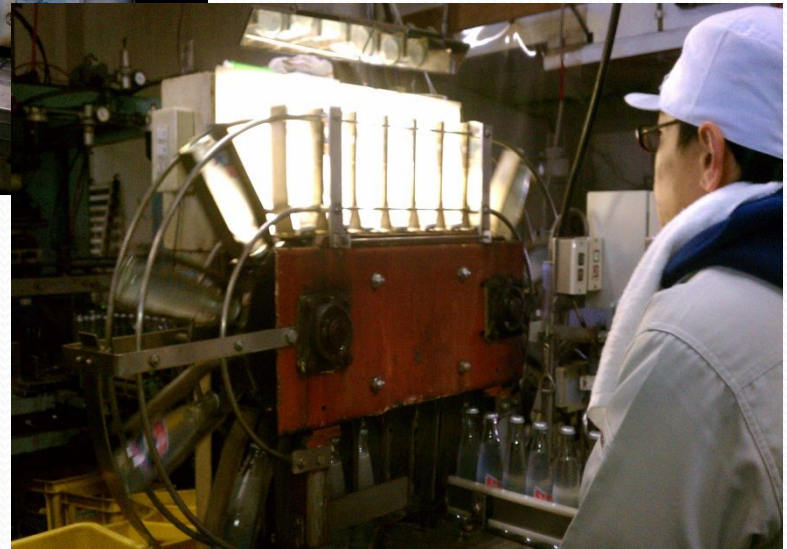
十万馬力新宿サイダーのびんは、くり返し使うことで、ごみとCO2を削減するリユースびん。飲み終わったびんを販売店に返却すると、50馬力のアトム通貨をゲットできます。アトム通貨は加盟店で使えます。

●アトム通貨についてはホームページをご覧ください。 <http://atom-community.jp>

十万馬力新宿サイダー 【内容量】220ml 【原材料】炭酸飲料(すだち果汁 2%使用) 【製造地】東京都(国) 【販売地】新宿区商店会連合会
【※※※】びん再使用ネットワーク、(株)エリックス 【※※】(株)手塚プロダクション

お問い合わせ：新宿区商店会連合会 〒160-0003 新宿区新富町 6-8-2 8F 新宿2楼 ☎03-3344-3130 ※このポスターは平成23年印刷済【DIN】リユースシステム構築に向けた取り組みの取組により作成しました。

十萬馬力新宿サイダーの製造



十萬馬力新宿サイダーの販売



販売状況とびん返却状況

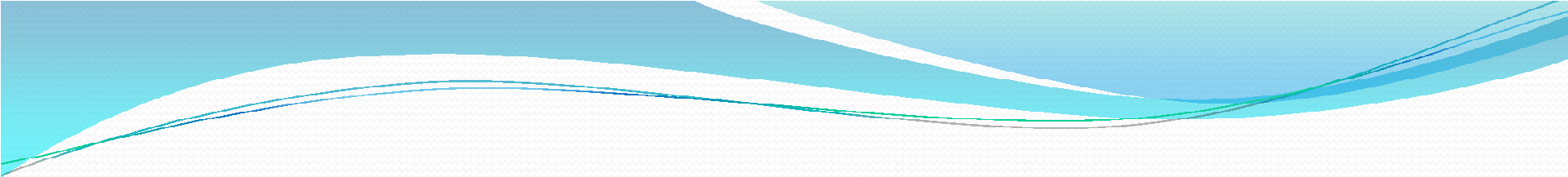
- 2月27日現在で38店舗。出荷ケース数は294ケース
- 都庁の展望ルーム、現在販売に向け準備中。
- 新宿区役所の売店で販売。
- 新宿駅近くのお好み焼店では3週間で7ケースを売り上げ。
- あるコンビニ店舗では4ケースが出荷された。
- 2月27日現在で、P函の戻り数は76ケース(出荷数の26%)、空びんの戻り本数は312本(9%)
- 「記念保管」以上に、商品が潤沢に回るようになれば、回収率が高まる
- リサイクルや不燃ごみで出た場合、そこからピックアップできる仕組みも

今回の成果

- 「循環社会に貢献し、地域の活性化、お客さんとのコミュニケーションツールにもなる取り組み」が、話題になり、改めてリユースの良さを、多くの人々が知る機会になった。
- リユースのインフラ(今回は地域の製造メーカー)の活性化の一助に寄与できた。リユース産業界に明るい話題を提供できた
- ほとんどの商店が、「お客さんからびんを返却してもらう」ことは初めての経験となった。同様に、お客さんにとっても初めての「リユースによる、環境に良いライフスタイル」の経験になった。
- 商品化できて、環境と地域活性化の商品として話題になり、一つのビジネスモデルを提示できた。

今後の可能性

- 年間5万本販売され、空びんの回収率が80%程度にまで高まれば、ワンウェイガラスびんに比べ、2.6トンのCO₂削減になる。
- 全国10か所で展開しているアトム通貨実行委員会では、十万馬力新宿サイダーを、当地でも扱いたいとの希望が、すべての地域から寄せられた。今後、アトム通貨導入地域などから、新宿サイダーと同様な取り組みが全国的に広がる可能性が見えてきている。
- 例えば「リユースびんを店舗に返却して50馬力のアトム通貨がもらえる。次に、その50馬力のアトム通貨なら、居酒屋で一杯目のビールがサービスになる」、リユースについて「環境に良いから」という訴求ポイントだけでなく、地域通貨を使う楽しさが、リユースの魅力を押し上げていく。今回の事業では、地域通貨との連動から、リユースに新たな魅力が生まれる可能性が見いだされた。



本事業を「びんリユースシステム構築に向けた実証事業」に採用いただいた、環境省びんリユースシステムの在り方に関する検討会座長の安井至様をはじめとする各委員の方々に、深く感謝申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。